

2025年度	科目名	特別支援教育特論（1）
	英語名	Advanced Seminar on Special Needs Education（I）
	科目属性	専門科目B群
	担当教員	千田 光久
	単位数	2単位（SC 0.5単位）

【授業の目的・ねらい】

【授業概要】

我が国の障害のある子供の教育に関する歴史及び世界の障害のある子供の教育の現状について学ぶとともに、我が国のインクルージョン教育をどのように推進していくべきかを考察していく。考察の過程においては交流及び共同学習、ユニバーサルデザイン授業、合理的配慮など幅広い視点で学習し、障害のある子供もいない子供も共に学び、共に生きていく共生について自己の教育観、人生観を深め、教育現場等で実践に活かすことができる人材の育成を目的とする。

【授業の到達目標】

1. 我が国の障害のある子供の歴史的処遇及び世界の障害のある子供の教育の現状を理解する。
2. 特殊教育から特別支援教育への転換を理解し、我が国のインクルージョン教育推進について教育現場を見据えて、現実的な考察ができ、具体的に教育現場へ活用することができる。
3. 一連の本講義を通して共に学ぶ教育、共に生きるという共生について自己の教育観、人生観を深め、自己の考えを教育現場等で実践に活かすことができる。

【授業計画】

1. 特別支援教育体制の概要について（第1回～第3回）
  - ①障害のある子供に対する処遇の歴史と特殊教育体制について
  - ②特殊教育から特別支援教育に体制が変わったことの特徴的なポイントについて
  - ③特別支援教育の本質についての考察
2. インクルージョン教育の視点を踏まえた特別支援教育の在り方（第4回～第7回）
  - ④インクルージョン教育について
  - ⑤インクルージョン教育の世界的な動向について
  - ⑥インクルージョン教育を実践するための具体的な方策について
  - ⑦明治以降の日本の教育制度の中でインクルージョン教育を定着させるための考察
3. インクルージョン教育の推進における交流及び共同学習の在り方（第8回～第10回）
  - ⑧交流及び共同学習の歴史について
  - ⑨交流及び共同学習の現状と課題について
  - ⑩インクルージョン教育の推進における交流及び共同学習の今後の充実についての考察
4. インクルージョン教育の推進におけるユニバーサルデザイン授業の在り方（第11回～第12回）
  - ⑪ユニバーサルデザイン授業の特徴、現状と課題について
  - ⑫インクルージョン教育の推進におけるユニバーサルデザイン授業の意義についての考察
5. インクルージョン教育の推進における合理的配慮の在り方について（第13回～第15回）
  - ⑬教育における障害のある子供の合理的配慮の現状と課題について
  - ⑭国や自治体における障害者の差別解消の現状と課題について
  - ⑮インクルージョン教育の推進における合理的配慮、障害者差別解消についての考察

## 科目修得試験

### 【評価方法】

評価については、スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）を総合しての評価となる。

### 【教科書】

1. 姉崎弘(2011)『特別支援教育とインクルーシブ教育－これからのわが国の教育のあり方を問う－』ナカニシヤ出版 ISBN 978-4779505782
2. 渡邊健治編著(2012)『特別支援教育からのインクルーシブ教育への展望』クリエイツかもがわ ISBN 978-4863420953
3. 日本特別ニーズ教育学会(2023)『国連障害者権利委員会勧告から探る特別ニーズ教育』文理閣 ISBN 9784892599460

### 【参考図書】

1. 文部科学省(2003)「今後の特別支援教育の在り方について（最終報告）」  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/shotou/054/shiryo/attach/1361204.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/054/shiryo/attach/1361204.htm)  
(2024/12/27 閲覧)  
※この URL からダウンロードすること（以下、URL のものは同様）
2. 文部科学省(2012)「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）」  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo3/044/houkoku/1321667.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/044/houkoku/1321667.htm)  
(2024/12/27 閲覧)
3. ユネスコ(1994)「特別なニーズ教育に関するサラマンカ声明と行動の枠組み」  
[http://www.nise.go.jp/blog/2000/05/b1\\_h060600\\_01.html](http://www.nise.go.jp/blog/2000/05/b1_h060600_01.html) (2024/12/27 閲覧)
4. 文部科学省(2019)「交流及び共同学習ガイド」  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/tokubetu/1413898.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/1413898.htm) (2024/12/27 閲覧)
5. 埼玉県立総合教育センター（2013）『小・中・高等学校及び特別支援学校におけるユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業実践に関する調査研究（最終報告）』  
<https://www.center.spec.ed.jp/cyousakenkyu/0ac01e9115721cdf39ebf6a2d0eb1e6f>  
(2024/12/27 閲覧)
6. 柘植雅義（編著）（2015）『ユニバーサルデザインの視点を活かした指導と学級づくり』金子書房
7. 日本授業 UD 学会他編著（2017）『授業のユニバーサルデザイン Vol.10』東洋館出版社
8. 阿部利彦、赤坂真二、川上康則、松久眞実(2019)『人的環境のユニバーサルデザイン』東洋館出版社
9. 内閣府(2021)「障害を理由とする差別の解消の推進に関する基本方針（改定案）」  
<https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/sabekai/kihonhoushin/pdf/houshin.pdf>  
(2024/12/27 閲覧)
10. 坂爪一幸・湯汲英史編著（2016）『知的障害・発達障害のある人への合理的配慮』かもがわ出版